



24日(土)に小島町の「ふれあいの道」を散歩しました。河津桜がちょうど見ごろの満開でした。家族連れやカメラマンもたくさん来ていました。

毎年、訪れるのですが、素敵な場所だとそのたびに思います。たいへんな苦勞をされてこの道を整備され、今も管理をされていることと思います。安らぎを与えてくれる憩いの場所になっており、感謝以外の言葉が見当たり

ません。歩数は往復で約4000歩。ほどよい距離。気持ちの良いひとときでした。

東中校区には桜の名所がたくさんあります。西浅井町源空院の枝垂れ桜、平原町「無の里」にある薄墨桜、つくしが丘5丁目の堤の桜などがすぐ浮かんできます。

そして、桜以外にも田んぼや小麦畑、大豆畑、茶畑が学校周辺には美しく整備されているのを感じます。川もそうです。土木事業のすばらしさを感じます。

また、その環境と比例するかのように、東中校区の人々の心根も美しいと感じます。たとえば、いくつかの学校を勤務した経験上、学校周辺の道路沿いにはごみのポイ捨てが目立ったりしますが、東部中周辺は非常にごみが少ないです。

学校の通用門の横断歩道前に立って朝の登校を迎えていると、名前も知らないのに、私に向かって必ず頭を下げられる方や、手を振って通られる方がみえます。4年間勤務している間にお互いに頭を下げる関係になった方も大勢できて、その中には校長室まで話に来てくださる方もできました。話していて、モラルの高い人々ばかりだと感じます。



そんな素敵な東中校区の魅力を発信したいと、1年生は観光用のリーフレットを作成しました。道の駅「にしお岡ノ山」に行ってみると、その休憩所入り口に6つのリーフレットが置かれていました。「わくわくコース」や「バイクコース」「ランニングコース」など内容も盛りだくさんです。

素晴らしい環境の中で東中生の心が育まれていきます。